

デマンド型乗合タクシーの 効率的な運行の見直しについて

平成28年10月27日

企画政策部企画課

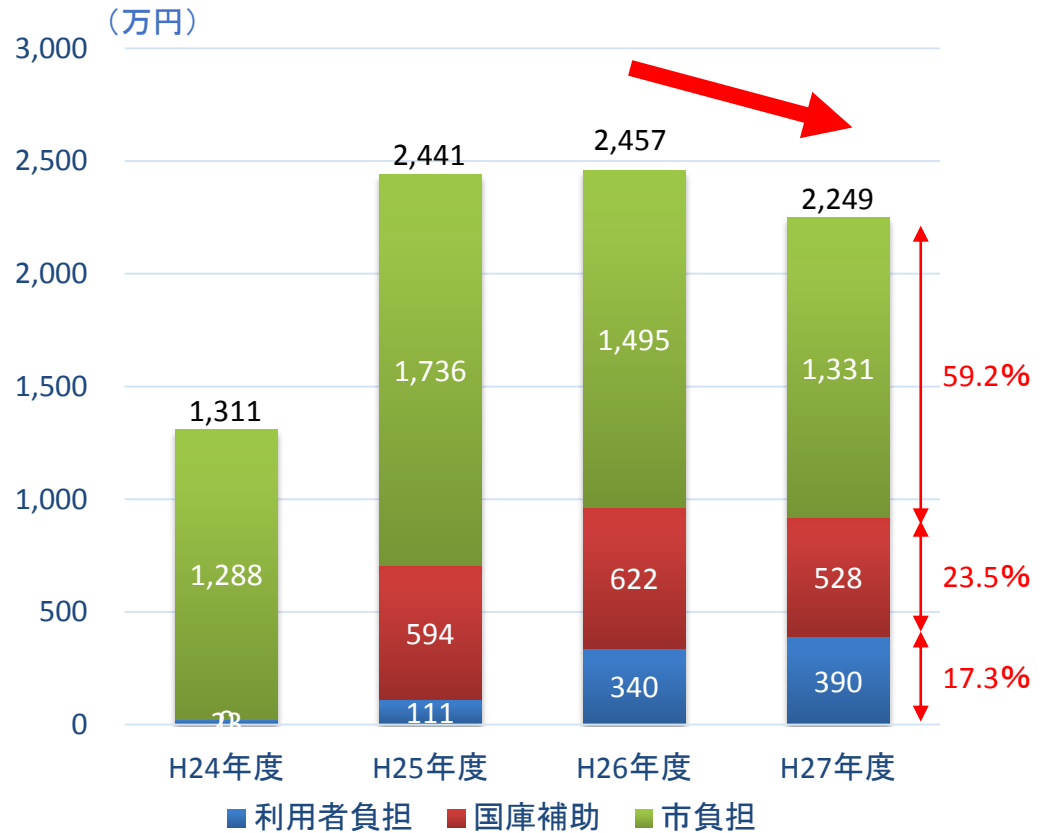
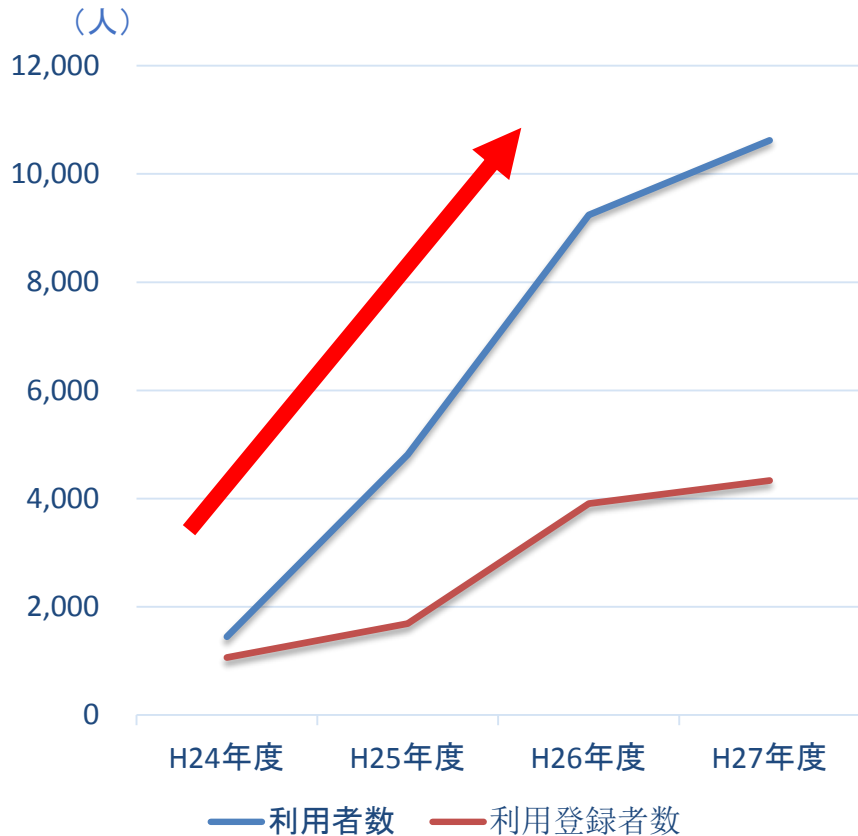
1. 東金市乗合タクシーの現状
2. 朝夕時間帯における応援車配車の検討
3. 市外運行についての検討課題の整理

1. 東金市乗合タクシーの現状

- ①. 利用者数と支出額の推移
- ②. 平成28年度の行政負担率の推計
- ③. 行政負担率を抑えるために

①. 利用者数と支出額の推移

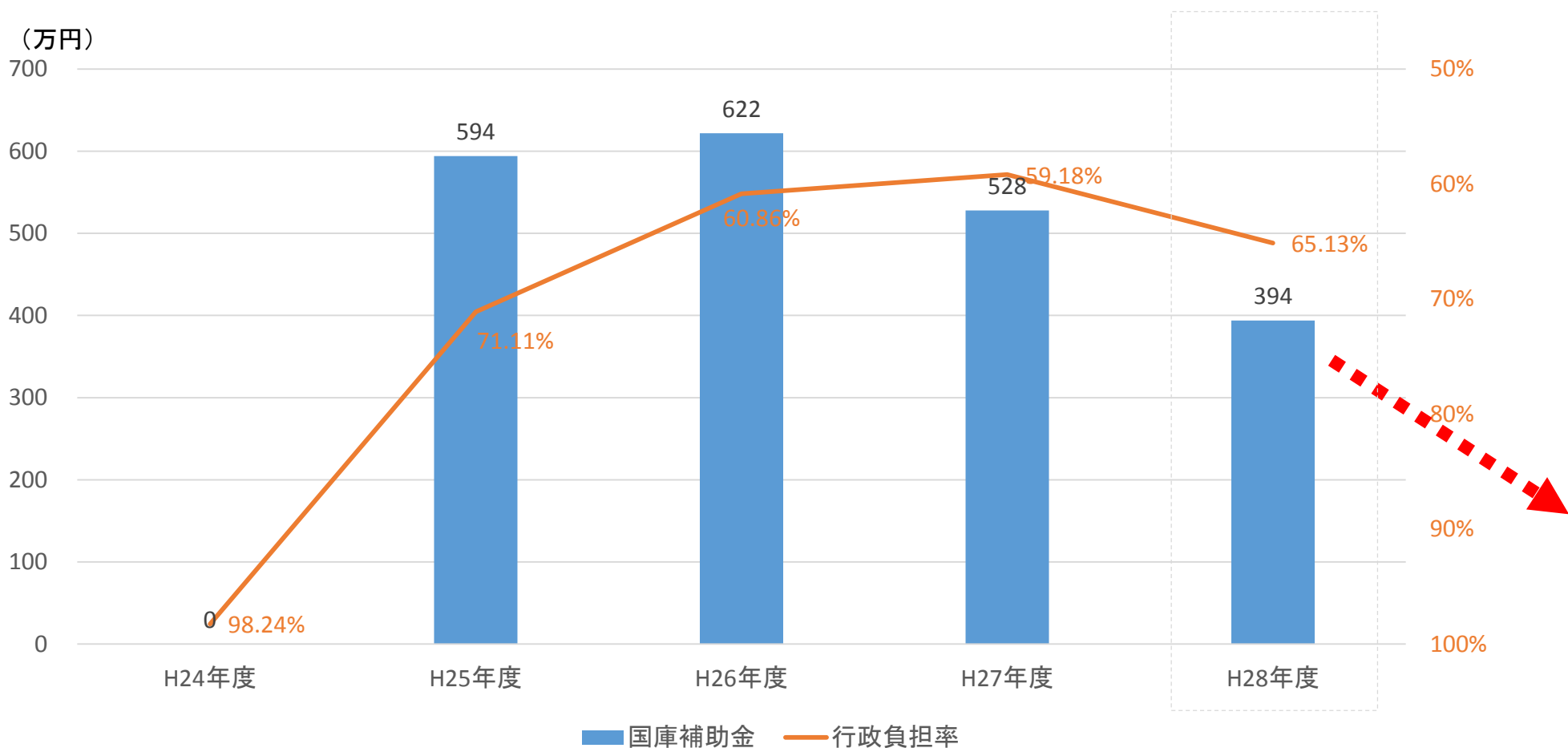
- 利用登録者及び利用者数は増加を続けており、運賃収入も増加している。
- 平成27年度の支出額は2,249万円であり、国庫補助金額が減額した一方、市負担も抑えられており、支出額全体としては減額している。



※ 平成24年10月～平成26年3月 公平・丘山・源・正気・大和地区にて実証運行
 平成26年4月～ 市内全域運行開始

②. 平成28年度の行政負担率の推計

- 今後、国庫補助は漸減していくことが通知されている。
(H25年度) 594万円 → (H26年度) 621万円 → (H27年度) 528万円 → **(H28年度内示) 394万円**
- 運賃収入や支出額が平成27年度と同等の場合、平成28年度の行政負担率は約65.1% (5.9増)となる。

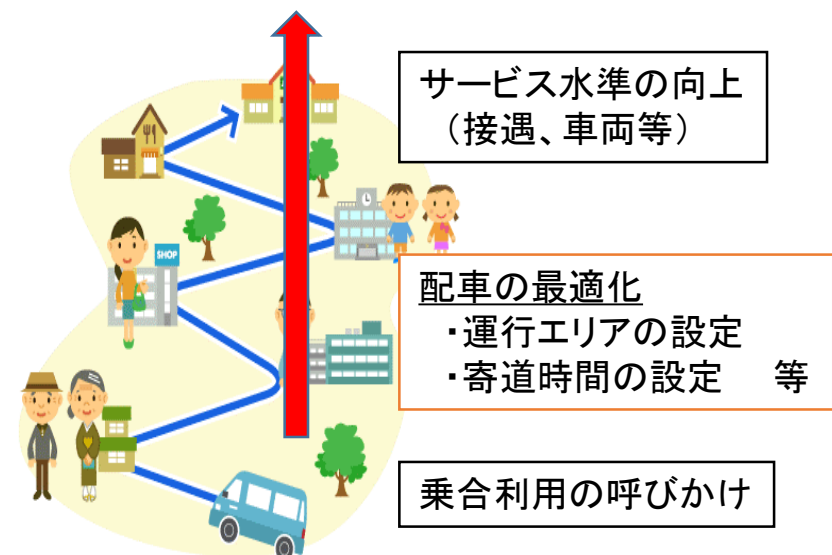


③. 行政負担率を抑えるために

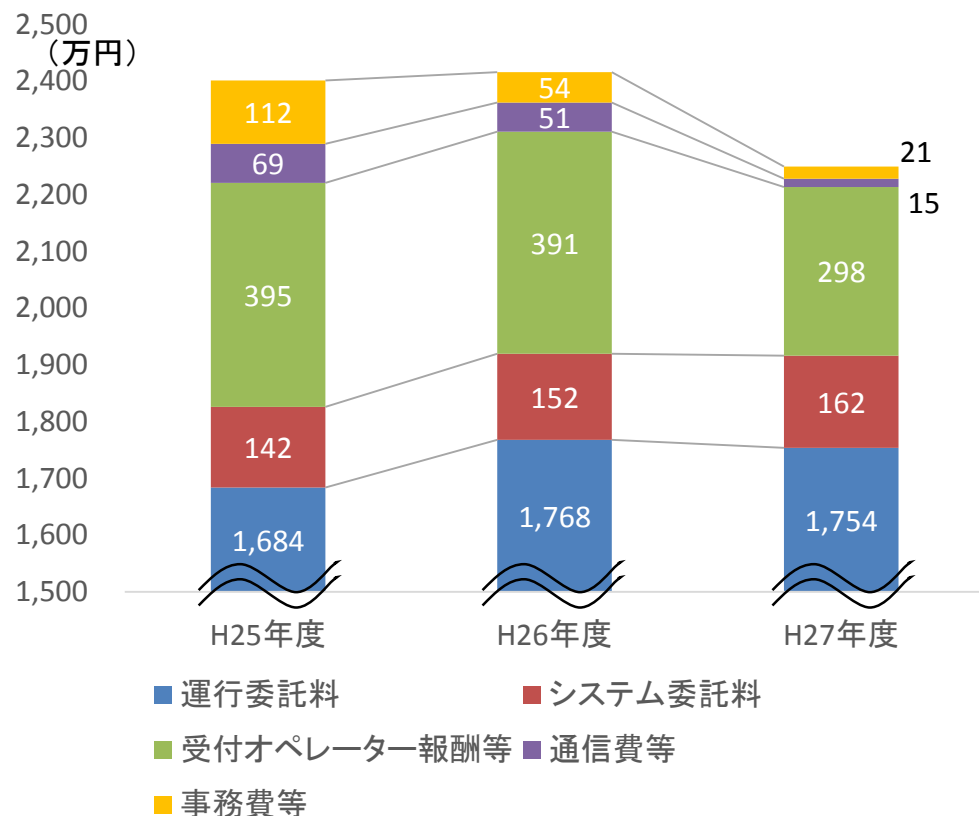
- 限られた財源の中、行政負担率を抑えるためには、効率的な運行のため、見直しを続けていかなければならない。
- 収支の両面から今後も検討を続けていく。

収入額を伸ばす

- 利用者数を増加させる
- 1台あたりの乗車人数を増加させる
- 時間あたりの運行回数を増加させる
- 運賃を増額する



支出額を抑える

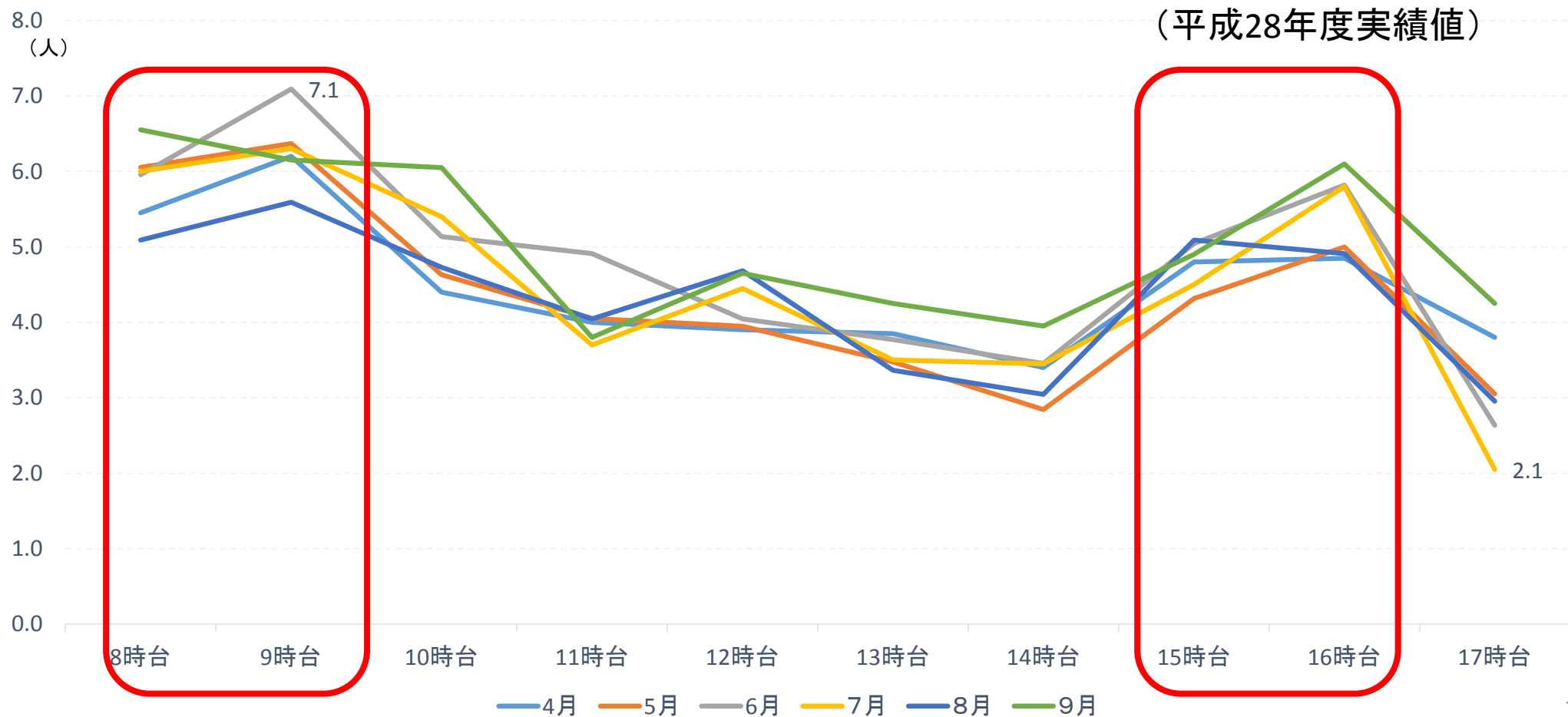


2. 朝夕時間帯における応援車配車の検討

- ①. 1日あたり時間帯別利用者数
- ②. 1日あたり時間帯別予約不成立数
- ③. 応援車を配車した場合の試算
- ④. 1日あたりキャンセル件数

①. 1日あたり時間帯別利用者数

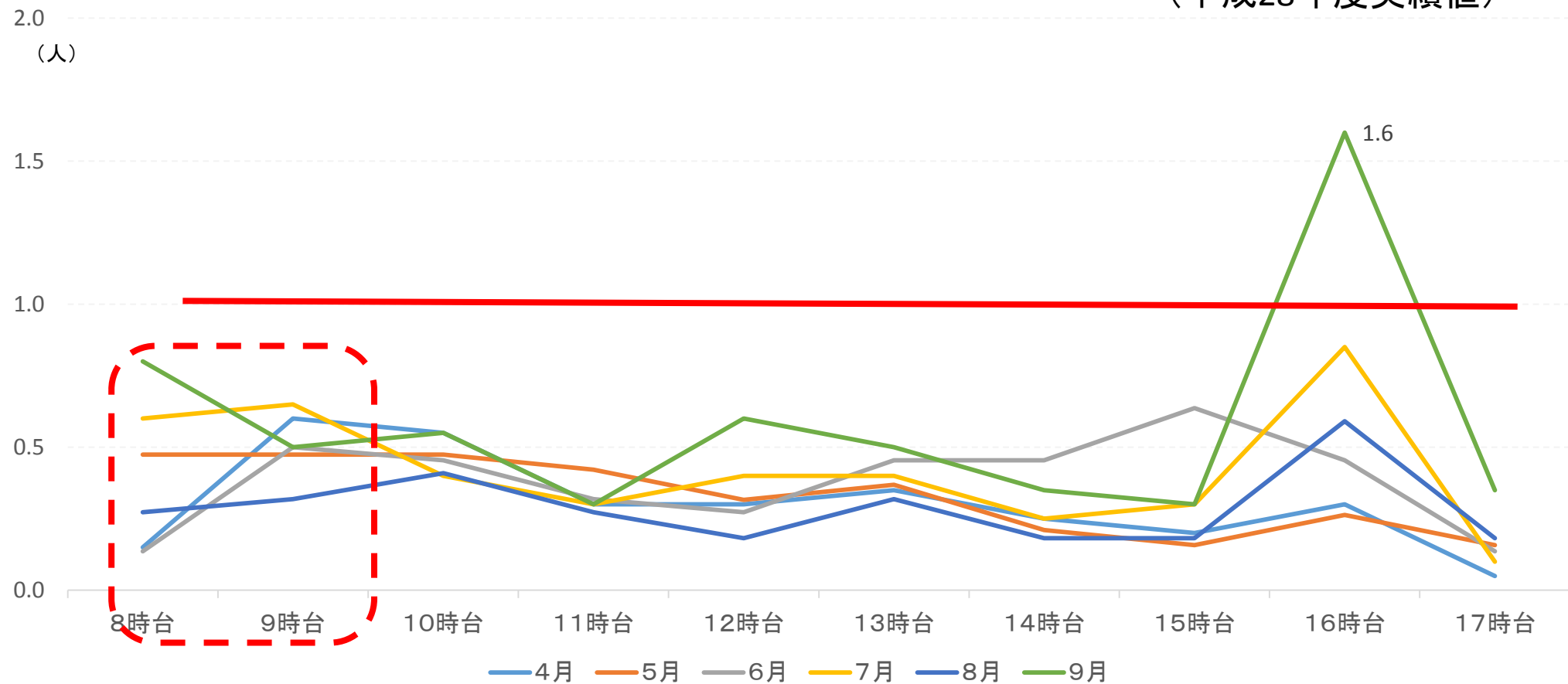
- 利用者の多い時間帯は、8時台、9時台、15時台、16時台となっている。
- 最も利用者数の多い時間帯は6月の9時台で7.1人となっている。



②. 1日あたり時間帯別予約不成立数

- 予約不成立の多い時間帯は、9時台、16時台となっている。
- 最も予約不成立数の多い時間帯は、9月の16時台で1.6人となっている。

(平成28年度実績値)



③. 応援車を配車した場合の試算

- 通年で1台増車した場合、予約不成立がなくなったとして、1日あたり1.85人利用者数が増えるが、約543万円の負担増となる。
- 1日2時間の応援車を増車した場合、最大で384人の利用者増が見込めるが、約87万円の負担増となる。

通年で1台増車

○ 年間を通して1日1台増車した場合の試算(平成27年度実績値に追加した場合)

委託料 : 17,538,084円 + 5,613,300円 (23,100円×243日)
運賃収入 : 3,902,600円 + 179,600円 (449人(H27年度不成立実績値)×400円)
増車分差額 : 5,433,700円増
国庫補助 : 5,280,000円
その他支出 : 4,750,245円
収支率 : 33.55% (行政負担率66.45%)

行政負担率の変化 59.18% → **66.45%** (7.27増)

1日2時間の応援車

○ 年間を通して配車した場合の試算

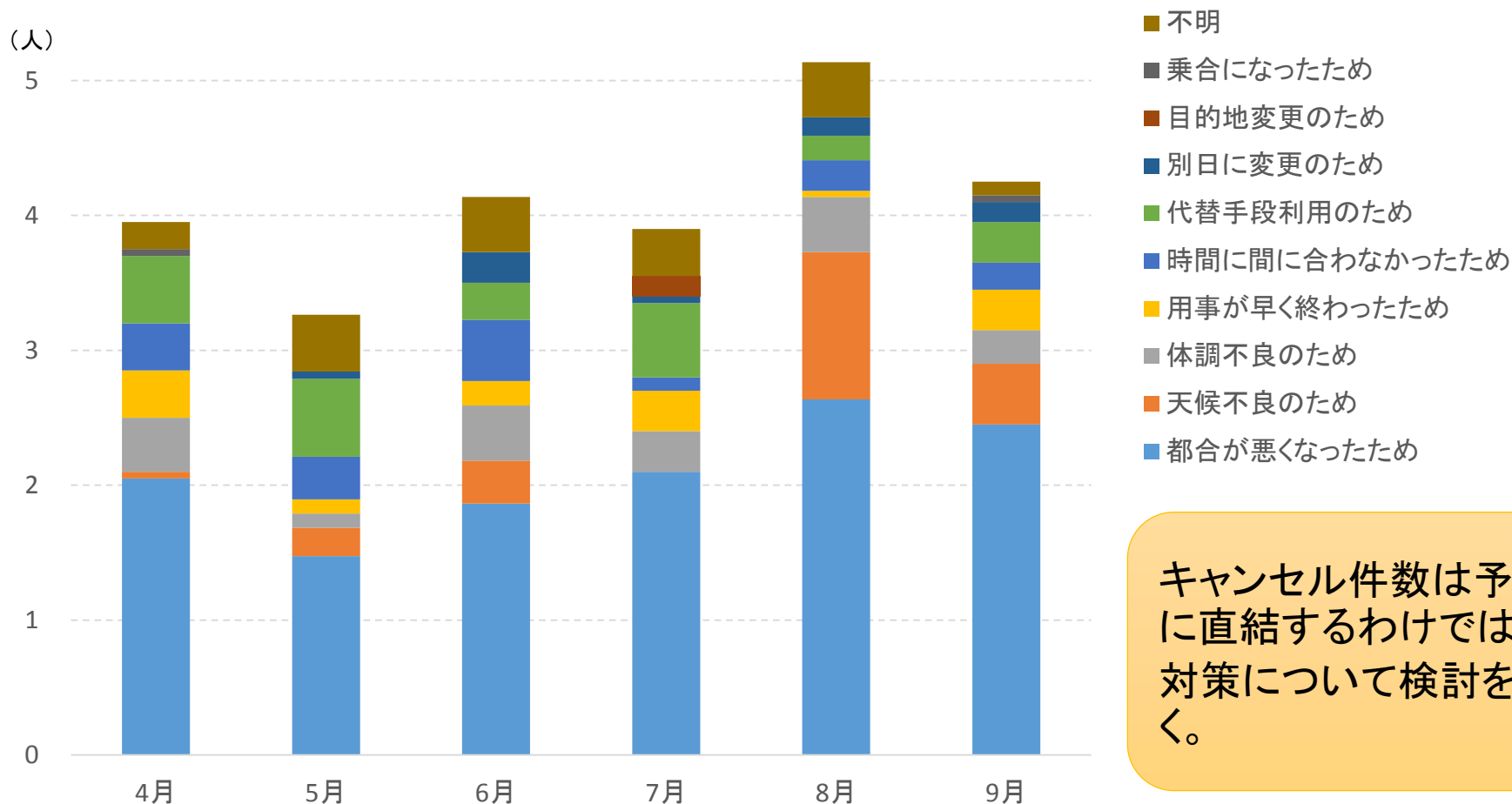
委託料 : 17,538,084円 + 1,020,600円(2,100円×2時間×243日)
運賃収入 : 3,902,600円 + 153,600円(32人×400円×12ヶ月)
増車分差額 : 867,000円増
国庫補助 : 5,280,000円
その他支出 : 4,750,245円
収支率 : 40.05% (行政負担率59.95%)

行政負担率の変化 59.18% → **59.95%** (0.77増)

引き続き需要調査を続け、必要に応じて応援車を配車していく

④. 1日あたりキャンセル件数

- 1日あたりのキャンセル件数は3～5件となっている。
- キャンセルの理由は「都合が悪くなったため」が最も多い。
- 最もキャンセル件数が多いのは8月であり、台風の影響からか、他の月と比較して「天候不良のため」が多い。



キャンセル件数は予約不成立に直結するわけではないが、対策について検討を続けていく。

3. 市外運行についての検討課題の整理

- ①. 乗合タクシーの運行ルートの原則
- ②. 乗合タクシーについての改善要望等
- ③. 検討課題の整理

①. 乗合タクシーの運行ルートの方則

- 原則として市外へは直接アクセスはせず、路線バスとの競合を避けるるとともに、路線バスの需要確保に努めることとしている。
- これまでは市内運行の安定化を優先してきたが、今後はニーズ把握や各種団体との協議、調整を含め、具体的な検討を進めていく。

東金市総合交通計画(H24.3) P.63

【運行ルート】

《路線バスとの競合を避け、市外へは直接アクセスせず、地域内生活交通幹線路線の乗継拠点(最寄の鉄道駅や主要バス停)や市内主要施設へは乗継なしで運行》

- ・市域外の目的地については、地域内生活路線の幹線路線を利用することによりアクセスを確保し、路線バスとの競合を避けるるとともに、路線バスの需要確保に努める。
- ・なお、八街市やさんむ医療センターなどの市域を超えた目的地移動ニーズもあることから、引き続き利用者ニーズの把握、関連自治体及び既存バス事業者等との協議調整を図りながら検討を進めるものとする。

第2次東金市総合交通計画(H28.3) P.60

【事業5】乗合タクシーの効率的な運行見直し

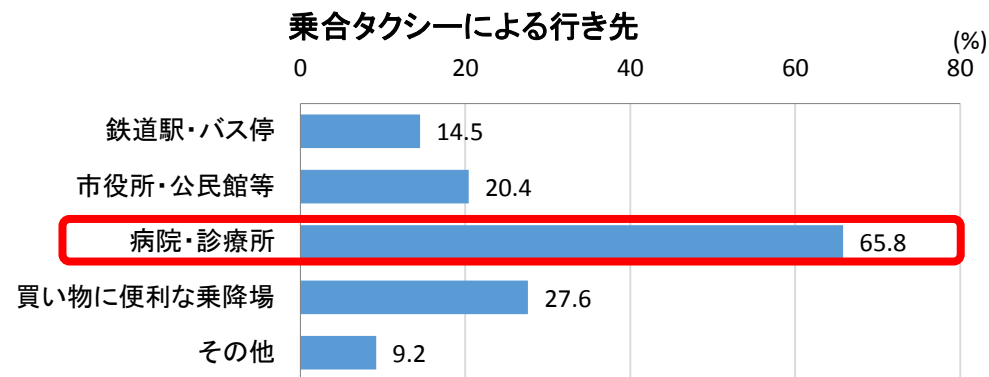
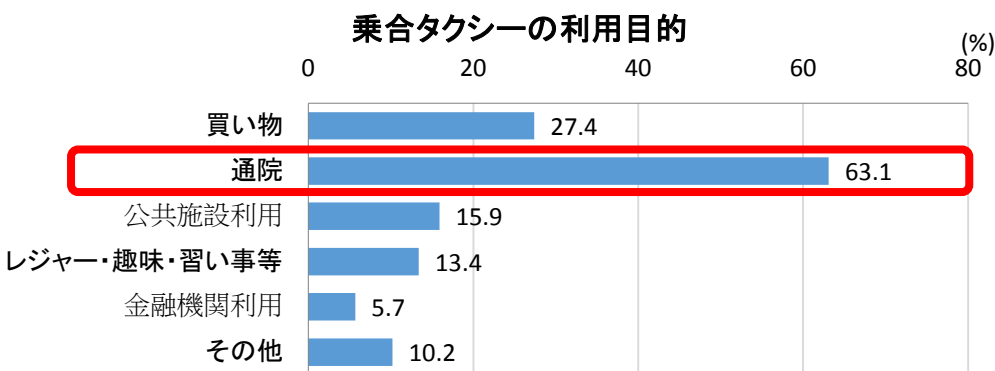
乗合タクシーの利用促進と利便性を高めながら、以下の観点等から運行形態を見直し、効率的な運行を実施する。

- 要望が多いさんむ医療センター等の市外における乗降場のあり方
- 乗合率の向上 ……複数人利用による割引等の導入など

②. 乗合タクシーについての改善要望等

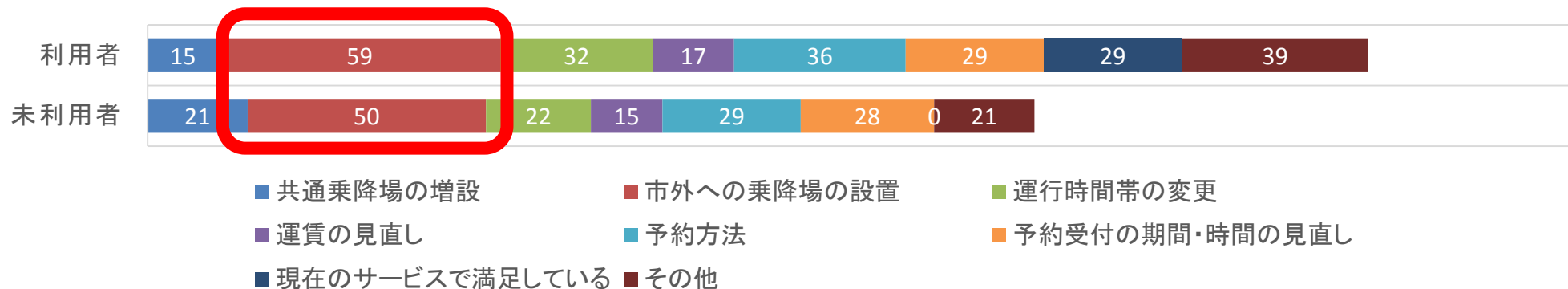
- 平成28年1月29日～2月12日に実施した乗合タクシー利用登録者に対するアンケートの結果、乗合タクシーの利用目的として63.1%から「通院」が挙げられており、実際の行き先として65.8%から「病院・診療所等」が挙げられております。
- 一方、改善要望としては「市外への乗降場の設置」が最も多く挙げられております。

第2次東金市総合交通計画 図2-48 (P.46)



第2次東金市総合交通計画 図2-54.57 (P.47-48)

乗合タクシーについての改善要望

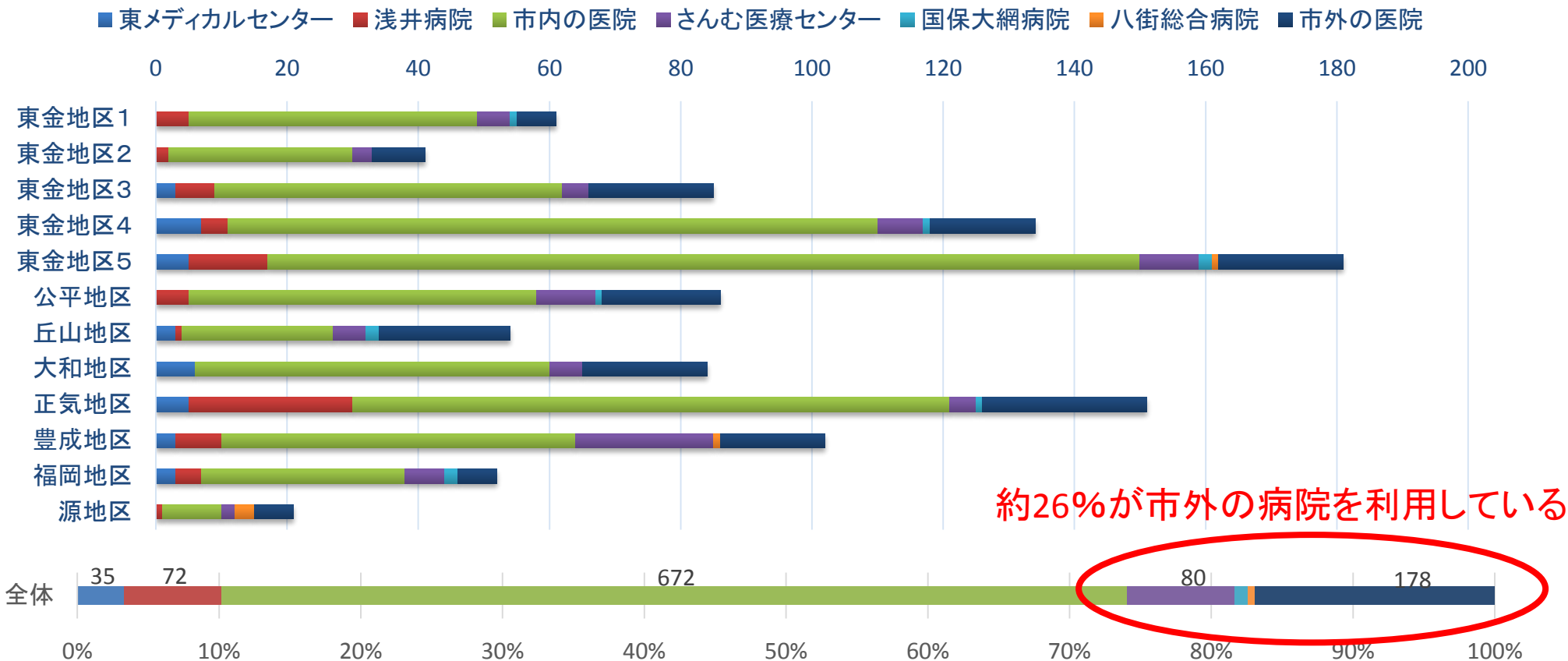


③. よく行く病院

○ 平成28年1月29日～2月12日に実施した公共交通に関するアンケート調査の結果、回答者1,052人中、273人がよく行く病院として市外の病院を挙げている。そのうち80人はさんむ医療センターを挙げている。

よく行く病院

第2次東金市総合交通計画 図2-7 (P.29)



④. 検討課題の整理

- 詳細重要の把握のために調査を行い、その結果について分析していく。
- 市内で検討し、実施したいか判断した後、周辺自治体へ打診する。

課題

1. 詳細需要の把握が不可欠
2. JR、路線バス、タクシー等との調整
3. 採算性の検討
4. 東金市地域公共交通会議での判断
5. 周辺自治体の意向確認

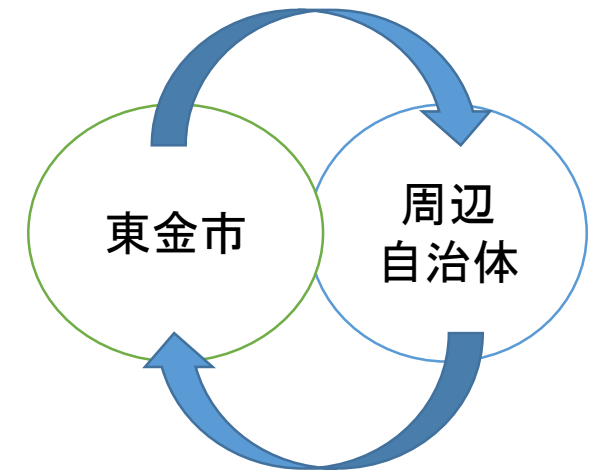
メリット・デメリット

○メリット

- ・ サービス水準の向上

○デメリット

- ・ 行政負担の増加
- ・ 市内需要の流出



本当に市外運行が必要かどうかの調査・検討を進める。

